CA92276-8641-01

PRIMERGY RX100 S5 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で注意事項がございます。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、本書をよくお読みの上ご使用願います。

2009 年 8 月
富士通株式会社

1. 「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」について

「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」(マニュアル)につきまして PRIMERGY スタートアップディスク添付のマニュアルは使用できません。インターネット情報ページ(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/)内の『マニュアル』から最新マニュアルをダウンロードしてご使用ください。

なお、インターネット情報ページに掲載している「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」について、以下の訂正事項があります。

「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド:B7FH-5631-01」への訂正事項

訂正 3.1 Web インタフェースの起動 (関連ページ:P19)

誤)

POINT

- ServerVIew S2 の「リモートマネージャ」画面からリモートマネジメントコントローラWebインターフェースを起動することも出来ます。

正)

POINT

- ServerVIew Operations Manager の「リモートマネジメント」画面からリモートマネジメントコントローラWebインターフェースを起動することも出来ます。

追記 4.1.1 System OverView (関連ページ:P26)

該当ページの表に、以下の項目を追加いたします。

項目		機能・仕様
Asset Tag Configuration		資産タグ設定 情報が入力でき、資産管理に利用することができます。
	System Asset Tag	資産タグ設定 情報が入力でき、資産管理に利用することができます。 システム資産タグシステムの資産管理に使用できます。40 桁まで入力できます。 使用可能文字種は 7Bit ASCII コードの文字です。その中で次の記号は問題が発生する可能性があるため、使用しないようにしてください。 > < " / \ = ! ? ; , &

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

訂正 4.1.2 System Component Information（関連ページ:P28）

該当ページの表の『System Memory Information』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

誤）

項目		機能・仕様
System Memory Information		サーバ搭載メモリ情報が表示されます(「iRMC S2」のみ)。
	No	メモリカードの通し番号が表示されます。
	Status	メモリスロットの搭載有無が表示されます。
	Config Status	メモリの状態が表示されます。
	Module Size [MB]	メモリのサイズが[MB]単位で表示されます。
	Module Frequency	メモリの動作周波数が[MHz]単位で表示されます。
	Memory Approved	メモリの認証状況を表示します(N/A、NO でも問題ありません)。
	CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます。

正）

項目		機能・仕様
System Memory Information		サーバ搭載メモリ情報が表示されます(「iRMC S2」のみ)。。
	Select	**memory action(コレクタブルエラーカウンタのクリア)を実施するメモリを選択します。** **注意事項:** **▶ この操作は保守操作です。「状態」表示が「OK」のメモリに対して実施した場合、エラーカウントがクリアされ、メモリの予兆監視が正しく行われなくなります。**
	No	メモリカードの通し番号が表示されます。
	Status	メモリスロットの搭載有無が表示されます。
	Config Status	メモリの状態が表示されます。
	Module Size [MB]	メモリのサイズが[MB]単位で表示されます。
	Module Frequency	メモリの動作周波数が[MHz]単位で表示されます。
	Memory Approved	メモリの認証状況を表示します(N/A、NO でも問題ありません)。
	CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます。

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

訂正 4.5.3 Voltage and Current（関連ページ:P49）

該当ページの表の『Voltage Sensor Information』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

誤）

項目		機能・仕様
Voltage Sensor Information		電圧センサに関する情報です。
	No	電圧センサの通し番号が表示されます。
	Designation	電圧センサ名が表示されます。
	Current	現在の電圧値が表示されます。
	Minimum	許容最小電圧値が表示されます。
	Maximum	許容最大電圧値が表示されます。
	Nominal	規定された電圧値が表示されます。
	Status	現在の電圧値から、異常な状態かどうかが判断されて表示されます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFF のみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告 ・Power Off:サーバの電源が Off のため状態が取得できません

正）

項目		機能・仕様
Voltage Sensor Information		電圧センサに関する情報です。
	No	電圧センサの通し番号が表示されます。
	Designation	電圧センサ名が表示されます。
	Current	現在の電圧値が表示されます。
	Minimum	許容最小電圧値が表示されます。
	Maximum	許容最大電圧値が表示されます。
	Nominal	規定された電圧値が表示されます。
	Status	現在の電圧値から、異常な状態かどうかが判断されて表示されます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFF のみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告 **・Upper-Crit:上限異常** **・Lower-Crit:下限異常** ・Power Off:サーバの電源が Off のため状態が取得できません

Copyright FUJITSU LIMITED 2009

訂正 4.7 Server Management Information （関連ページ:P56）

該当ページの表の『ASR & R Options』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

誤）

項目		機能・仕様
ASR&R Options		サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定する情報は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。
	ASR & R Boot Delay	ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた後、ここで設定した時間（単位：分）が経過すると、サーバは自動で電源を投入します。ただし、「Retry Counter」の設定値が 0 の場合は、自動起動しません。
	Retry counter	異常が発生し、サーバがシャットダウンされた後の自動再起動回数を、0 ～ 7 の間で設定します。このカウンタ値は、ファン異常、温度異常、OS Watchdog Timeout、Boot Watchdog Timeout で再起動が行われるたびに、1 ずつ減少します。カウンタ値が 0 になると、自動起動しません。
	BIOS recovery flash bit	BIOS の自動書き換えを設定します。 ・Enabled 自動書き換えを有効にします。BIOS 自動書き換えエリアに書き換え対象の BIOS イメージが設定されている場合、自動的に BIOS の書き換えが行われます。未サポートです。 ・Disabled 自動書き換えを無効にします。
	Power Cycle Delay	Power Cycle 実行時に、Power Off から Power On を行うまでの時間を 0～ 15（単位は秒）で設定します。

正）

項目		機能・仕様
ASR&R Options		サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定する情報は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。
	ASR & R Boot Delay	ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた後、ここで設定した時間（単位：分）が経過すると、サーバは自動で電源を投入します。ただし、「Retry Counter」の設定値が 0 の場合は、自動起動しません。
	Retry counter Max	**異常が発生し、サーバがシャットダウンされた後の自動再起動回数のデフォルト値を、0 ～ 7 の間で設定します。 システムが継続して 6 時間稼動していた場合、当項目で設定された値は下記項目のリトライカウンタに反映されます。**
	Retry counter	**現在のサーバの自動再起動回数を表示します。0 ～「リトライカウンタ 最大」値の間が設定可能な値です。このカウンタ値は、ファン異常、温度異常、ソフトウェアウォッチドッグ タイムアウト、Boot ウォッチドッグ タイムアウトで再起動が行われるたびに、1 ずつ減少します。カウンタ値が 0 になると、自動起動しません。 注意事項： ▶ 本項目の設定を変更した場合、設定をサーバに反映させるためにサーバの再起動が必要です。**
	BIOS recovery flash bit	BIOS の自動書き換えを設定します。 ・Enabled 自動書き換えを有効にします。BIOS 自動書き換えエリアに書き換え対象の BIOS イメージが設定されている場合、自動的に BIOS の書き換えが行われます。未サポートです。 ・Disabled 自動書き換えを無効にします。
	Power Cycle Delay	Power Cycle 実行時に、Power Off から Power On を行うまでの時間を 0～ 15（単位は秒）で設定します。

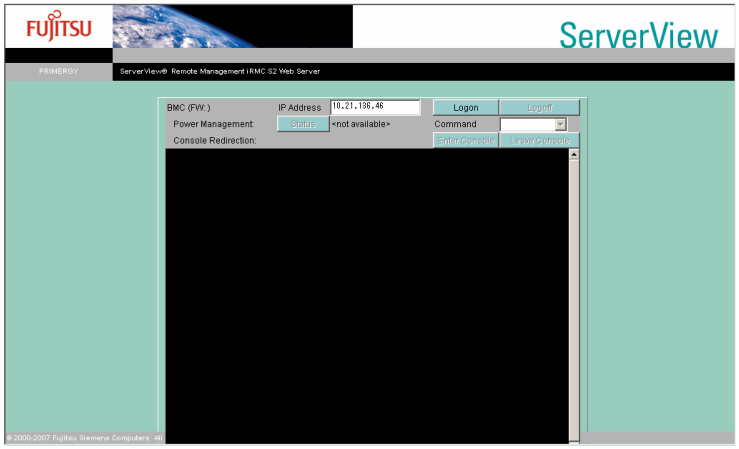
Copyright FUJITSU LIMITED 2009

訂正 4.11.1 BIOS Text Console ■Text Console Redirection （関連ページ：P75）

当項目全体について、以下の内容にて読み替えてください。

■Text Console Redirection

リモートでテキストコンソールのリダイレクションを行う場合は、BIOS Text Console画面で[Start Console Redirection]をクリックした後、表示されたWeb 画面上の[Login]をクリックします。



項目		説明
BMC(FW:)		ログオン後、iRMC S2ファームウェアのバージョンを表示します。
IP Address		iRMC S2に設定されたIPアドレスが表示されます。
[Logon]		「IP Address」に表示されているiRMC S2にログオンします
[Logoff]		iRMC S2からログオフします。
Power Management:		サーバの電源制御を行います。サーバに対して行う操作を選択します。 「Status」をクリックすると、現在のサーバの電源状態が表示されます。
Command		サーバに対して行う電源制御操作のコマンドを選択します。
	Power On	電源を入れます。
	Power Off	電源を切ります。
	Reset	再起動します。
	Power Cycle	電源を切り、再度電源を入れます。
	Shutdown	シャットダウンします。
Console Redirection:		iRMC S2にログオンしている場合のみ有効です。
	[Enter Console]	コンソールリダイレクションを開始します。
	[Leave Console]	コンソールリダイレクションを終了します。

重要

BIOSテキストコンソールで起動したWeb画面に何も表示されない場合

- BIOSテキストコンソールで起動したWeb画面上の[Logon]、[Enter Console]をクリック後、オンライン状態となったが画面に何も表示されない場合は、クライアント側のキーボードで【Ctrl】+【r】キーを押してください。画像の再読込を行います。

POINT

- テキストコンソールのリダイレクションは、テキストベースのコンソールリダイレクションです。POSTからOS（Windows/Linux）の起動開始まで（BIOS設定含む）のリダイレクションが行えます。

Copyright FUJITSU LIMITED 2009